

令和4年度文部科学省寄附フォーラム

基金に関する取組み

新潟大学理事・副学長 末吉 邦
(新潟大学基金担当)



新潟大学の概要

教育研究院

- 人文社会科学系
- 自然科学系
- 医歯学系

学部

- 人文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済科学部
- 理学部
- 医学部
- 歯学部
- 工学部
- 農学部
- 創生学部

附置研究所

- 脳研究所
- 災害・復興科学研究所

医歯学総合病院

全学共同教育研究組織

- 環東アジア研究センター
- 佐渡自然共生科学センター
- 日本酒学センター

大学院

- 教育実践学研究科
- 現代社会文化研究科
- 自然科学研究科
- 保健学研究科
- 医歯学総合研究科

別科

- 養護教諭特別別科

附属学校園

- 幼稚園
- 新潟小学校
- 新潟中学校
- 長岡小学校
- 長岡中学校
- 特別支援学校

(2022年4月1日現在)

- 学生等数
 - ・ 学部生数 9,992人
 - ・ 大学院生数 2,072人
 - ・ 別科学生数 48人
 - ・ 教職員数 3,170人

(特定有期雇用の特任教員等(フルタイム)及び看護職員等含む)

(2022年5月1日現在)

- 主な外部資金の受け入れ状況

- ・ 科学研究費助成事業
 - 採択状況 792件、1,271,260千円
- ・ 共同研究 244件、580,923千円
- ・ 受託研究 245件、1,962,374千円
- ・ 寄附金 1,955件、1,258,036千円
- 合計 3,236件、5,072,593千円

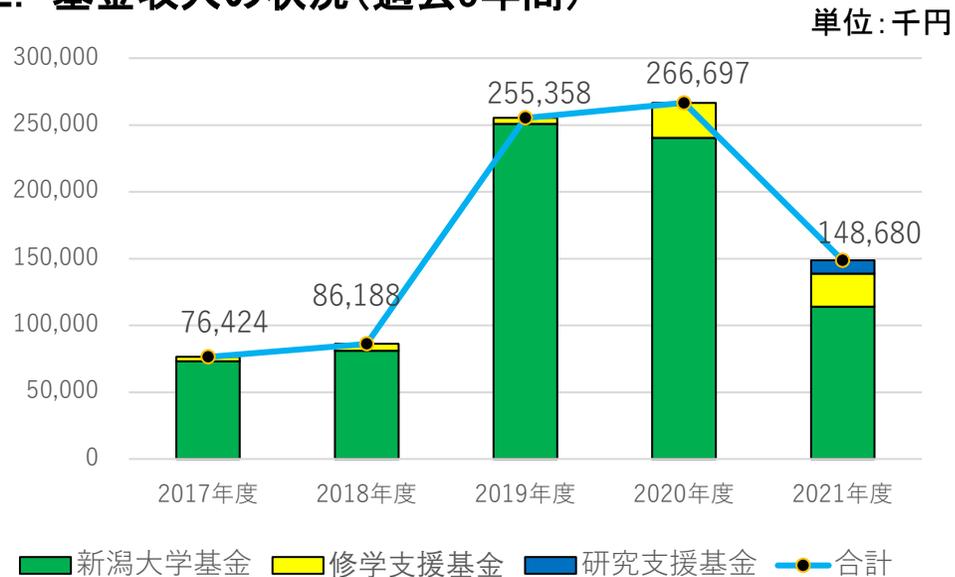
(2021年度実績)

基金の状況

1. 基金創設の歴史

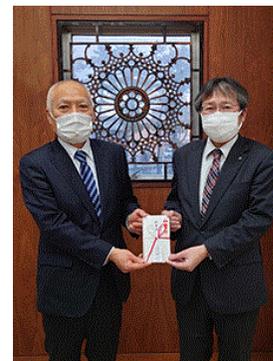
- 2009年 新潟大学基金創設
- 2013年 サポーター連携推進室設置
- 2016年 修学支援事業基金(新潟大学まなび応援基金)創設
- 2020年 ファンドレーザー(特任専門職員)1人採用
- 2022年 研究等支援基金創設

2. 基金収入の状況(過去5年間)



3. 主な特定基金

設置年	基金名	寄附件数・金額 (累計)
2019～	ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがたの建設・運営	2,340件・241,842千円
2019～	工学部創立100周年記念事業 寄附金	846件・89,630千円
2019～	医学部医学科の研究棟・ 講義室の改修整備	430件・38,878千円
2020～	「コシヒカリ新潟大学NU1号」 応援基金	296件・3,016千円



学長・理事によるトップセールス

修学支援基金で実施する事業

1. まなび応援基金の創設

2016年4月の税制改正に伴い、国立大学法人への個人から寄附についての所得税における優遇措置が、従来の「所得控除」によるものから、寄附者が「所得控除」と「税額控除」のいずれかを選択できるように改正されたことに伴い、制度改正に適合した新たな基金として「新潟大学まなび応援基金」を創設した。

2. 対象となる主な事業

(1) 「輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金」

成績優秀であって大学進学を望みながら、経済的な理由のため夢をあきらめる高校生を対象として、入学時に必要となる納付金等に対する奨学金（40万円）の給付と、学生寮入居希望者に五十嵐寮の優先確保をセットにした修学支援制度。募集枠は50人。

入学時期	2018.4	2019.4	2020.4	2021.4	2022.4
給付実績	50人 2,000万円	42人 1,680万円	41人 1,640万円	17人 680万円	15人 600万円



入学者選抜要項に差込んで配布するチラシ



奨学金の詳細はこちら
(新潟大学WEBサイト) **3**

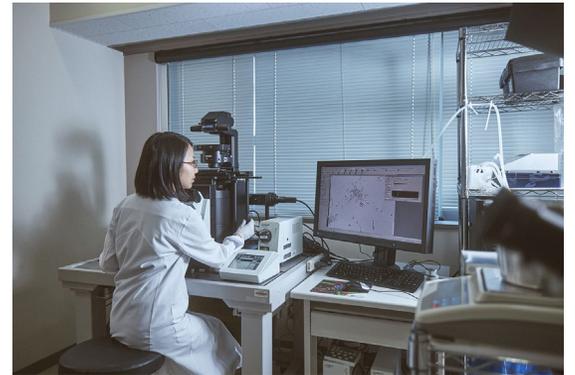
修学支援基金で実施する事業

2. 対象となる主な事業

(2) 新潟大学大学院博士課程奨学金

新潟大学大学院の修士課程を修了後、引き続き博士課程に進学する意欲がありながら、経済的理由により進学を断念せざるを得ない学業成績が優秀な学生に対して、博士課程の進学時に必要となる学資の一部を奨学金（30万円）として給付することにより、当該学生の博士課程への進学意欲を促進させ、もって若手研究者を養成するもの。

※年間給付額：600万円（30万円×20人）



(3) 新潟大学学業成績優秀者奨学金

第2年次以上の学生のうち、前年度に取得した単位数の合計が修業年限内に卒業するために必要な標準修得単位数以上の者で、かつ、前年度の成績評価においてGPAの値（GPAを採用していない学部は、「優」以上の割合）が在籍する学部（医学部は各学科）の上位（各年次3人）である者に、年1回、奨学金（10万円）を授与し、顕彰する制度。

※年間給付額：1,110万円（10万円×111人）



2021年度表彰状及び奨学金授与式
（オンライン開催）

修学支援基金で実施する事業

2. 対象となる主な事業

(4) 新型コロナ対策緊急学生サポートパッケージ (支援金)

・新潟大学修学応援・生活支援金<給付> (新型コロナ対策特別支援)

新型コロナウイルスの影響により経済的に著しく困窮し、その修学及び生活の継続が危機的状況にある者を対象として、緊急避難措置としての一時金(5万円)給付。

※2020・2021年度で延べ66人、330万円を給付

・新潟大学新型コロナ対策緊急支援金<貸与>

新型コロナウイルスの影響により緊急に学資が必要となった学生に対して支援金(3万円)として貸与。申請に当たり書類や審査等を簡略化し、速やかに貸与を行った。

返済は在学期間中であるが、あらかじめ指定した学内事業や衛生・環境保全業務への従事等で返還を免除できることとした。

※2020・2021年度で延べ40人、348万円を貸与。返還免除者は15人



修学支援を受けた学生や寄附者の声

新型コロナウイルスの影響を受け、家庭教師のアルバイトが突然終了したり、コンビニでのアルバイトでも勤務時間が減ったりして収入減になり、大学授業料の納入や専門書の購入をどのようにしたらいいか日々悩んでいましたが、おかげさまで、必要な医学書を購入でき、生化学や生理学といった難しい科目の勉強に時間を割くことができました。本当にありがとうございました。（医学部2年）

研究者を志すようになり、博士課程への進学時、新型コロナウイルスの影響で収入が見込めなくなりました。博士課程奨学金のおかげでスムーズに新学期を迎えることができました。多大なサポート、感謝いたします。（大学院自然科学研究科博士課程1年）



親の反対もあったため奨学金制度のある大学を調べていた時、輝け未来!!新潟大学入学応援奨学金制度を知り、新潟大学へ応募しました。さらに物理学科は学びたい分野でもあり、有名な先生がいると聞き、受験することを決意しました。これからは、様々な現象や理論上で、そこから見えてくる新たな疑問を解決していきたい。（理学部1年）

なにかと、厳しい世の中ですが、変化に対応出来る力を身に付けて、輝く未来を歩んで下さい。陰ながら応援しています。（魚沼市在住）

まじめな学生が、経済的負担から学びに支障を来さないよう、修学支援に役立てていただきたい。税額控除が選べるのも大きなメリット。（新潟市在住）

有為な若者が途中で勉強をあきらめるようなことはあってはならないことです。少しでも役に立てばうれしいです。（東京都在住）

修学支援、研究等支援基金の状況

4. まなび応援基金

単位：千円

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	累計
収入	40,512	3,256	5,230	4,320	26,237	24,631	104,186
支出	—	4,990	4,150	4,930	2,180	5,560	21,810
残高	40,512	38,778	39,858	39,248	63,305	82,376	—

5. 研究等支援基金(2022年1月創設)

優秀な大学院生の研究を応援するために創設。

対象事業

- ・新潟大学フェロシップ事業（科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業）
- ・未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト（次世代研究者挑戦的研究プログラム）

※2021年度収入額：1,000万円

地方における寄附活動の特性

1. 地方における寄附活動の特性

- ・新潟大学が立地する新潟県は、東京都や大阪府などに比べ人口は少なく、企業数も多いとは言えない。
- ・新潟大学は、新潟県において認知されているが、全国的にはまだまだ高いとは言えない。

○東京都を100とした場合の他都道府県の指数
(経済産業省企業活動基本調査2020より抜粋)

順位	都道府県名	企業数	売上高
1	東京都	100.0	100.0
2	大阪府	36.4	19.5
3	愛知県	25.1	18.1
4	神奈川県	17.7	7.8
5	兵庫県	12.6	4.8
13	新潟県	7.2	1.3

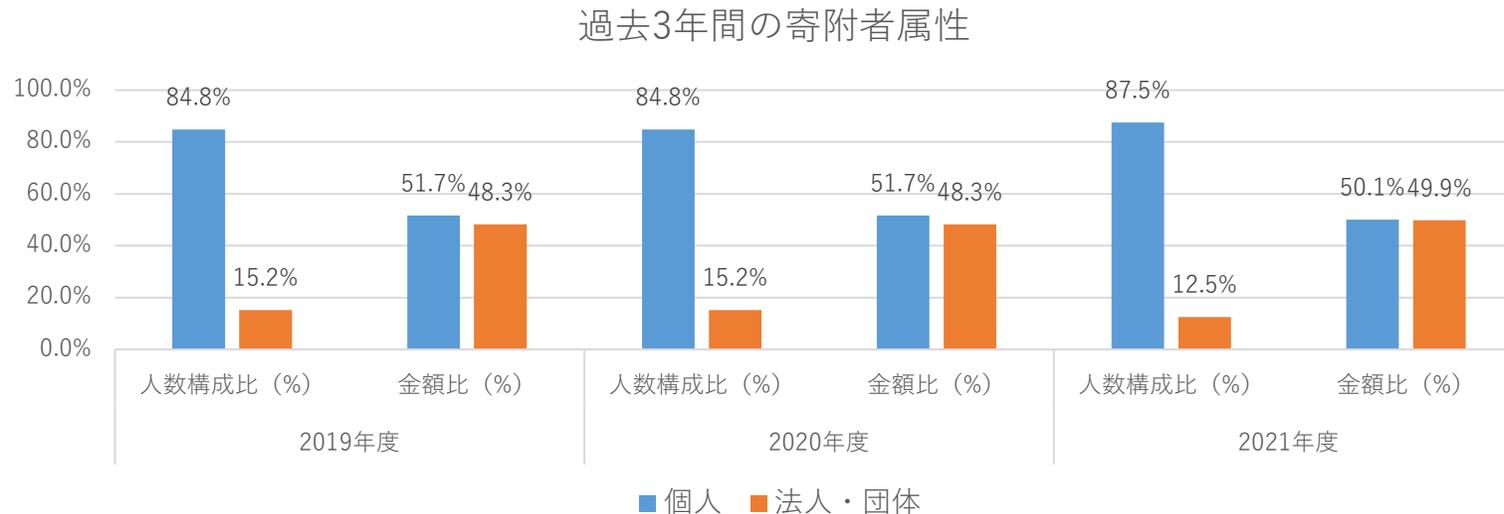
○人口
東京都 約1,392万人
大阪府 約880万人
新潟県 約222万人
(政府統計ポータルサイトe-Statより抜粋)

○新潟県内企業の特徴
中小企業が大多数であり、
特に小規模事業者の割合が高い。
(新潟県WEBサイト-新潟県の課題個別
説明資料(2021年6月)より抜粋)



地方における寄附活動の特性

2. 新潟大学における寄附者属性の現状



※古本募金、基金運用益など除く

・ 寄附件数としては、個人からの寄附が多くを占め、企業等からの寄附がさほど多くない。

・ 寄附金額としては企業等からの寄附額は多く、又は個人と同等である。

・ このことから地道に信頼関係を構築すべく、丁寧なアプローチを行っている。

3. 地域社会の課題を解決する取組みを基金化

人口・企業数が大都市に比べ少ない地方都市においては、大学が行う「地域社会の課題解決のための取組み」を特定事業基金として基金化し、**抽象的でなく明確に取組みを表現**していきながら、ステークホルダーの共感を得て、支援していただく方の割合を増やしていく活動が重要。

特色ある取組み①

1. 【特定基金】ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがたの建設・運営

日本海側では初めてとなる「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」（20歳未満の患者及びその付き添い家族のための滞在施設）の開設を公益財団法人ドナルドマクドナルド・ハウス・チャリティーズジャパンから承認され、その建設に係る費用の約半分である1億8千万円を目標額として募金活動を2019年10月から開始し、2020年10月に目標額を達成。2022年3月までに約2億4千万円を受け入れた。

<募金活動>

- ・新潟県・新潟市といった行政、新潟県の企業等の産業界、医療に携わる 医師会や看護協会へ発起人就任を要請
- ・新潟大学や医歯学総合病院のWEBサイトやSNSでの情報提供に加え、テレビ・ラジオ、新聞、業界紙などからの取材を受け発信するパブリシティを活用
- ・商工会議所、経済同友会、経営者協会などの団体を通じた情報の拡散
- ・こどもの病気をサポートする医療機関、関連団体等への情報提供



DMHにいがた外観デザイン図

特色ある取組み②

2. 新潟大学サポーター倶楽部

(1) 趣旨

地域の中核を担い国際社会で活躍する人材を輩出するため、本学が行う学生の修学支援事業等の推進に賛同した企業や個人の皆様が納入した年会費を継続して全額新潟大学基金へ受入れ、会員への情報発信により新潟大学と会員及び地域社会の連携と発展を目指すことを目的としている。

(2) 活動内容

毎年、報告会・情報交換会を開催し、倶楽部会員に、支援を受けた学生からの謝意や特色ある活動を展開する学生の活動報告、倶楽部会員と学生、役員、教職員との情報交換を実施している。

(3) 倶楽部への勧誘活動

倶楽部幹事（13社）や会員企業からの紹介、本学と関係や企業データなどを分析して対象企業を選定。案内文書の送付や企業訪問を行って勧誘活動を行っている。

※2021年度倶楽部の状況：183会員（企業・団体、個人）、会費収入14,880千円



2019年度報告会・情報交換会（対面開催）



2021年度報告会・情報交換会（オンライン開催）



報告会当日の学生発表
動画掲載WEBサイト

特色ある取組み③

3. クラウドファンディングの実施

多様な資金調達観点から、クラウドファンディングを実施。各研究室の活動や大学の設備投資などに対する「外部資金・寄付金の獲得の機会」の拡大を期して、日本初・国内最大級のクラウドファンディングサービス「READYFOR」を運営するREADYFOR株式会社と業務提携を締結し、2022年2月17日に4件のプロジェクトを公開した。今後も定期的に公募説明会を開催して、プロジェクトの募集を行う。



心臓病患者さんの快適な生活のために。新潟県の医療者の学びを支えたい

新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学分野

募集期間:2022/2/17~2022/4/14
目標金額:5,400,000円

寄付件数:176件
寄付金額:7,094,000円

達成率:131%



歯科医療の安全性向上を目指す

患者さんがより安心して治療を受けられるために



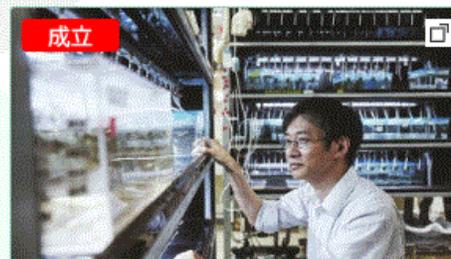
歯科治療での医療事故を防ぐ。救急対応時の教育映像の普及にご協力を。

新潟大学大学院 歯科麻酔学分野教授 瀬尾 憲司

募集期間:2022/02/17~2022/04/15
目標金額:10,050,000円

寄付件数:363件
寄付金額:13,443,000円

達成率:128%



パーキンソン病の病態解明を目指して、アフリカメダカを使った研究を

新潟大学脳研究所 脳病態解析学分野 松井 秀彰

募集期間:2022/02/17~2022/04/15
目標金額:5,000,000円

寄付件数:179件
寄付金額:9,421,000円

達成率:188%



新潟大学から日本酒研究の世界的拠点を生む | 日本酒学プロジェクト

新潟大学日本酒学センター

募集期間:2022/02/17~2022/04/15
目標金額:6,000,000円

寄付件数:243件
寄付金額:8,019,000円

達成率:133%

2021年度に公開した4件のプロジェクト

○募集期間
2022年2月17日～
4月15日 (58日間)

○目標金額
26,450千円

○寄附金額
37,977千円

特色ある取組み④

4. 「コシヒカリ新潟大学NU1号」応援基金

新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センター（KAAB）の研究グループは、近年の猛暑によって高温障害の被害を受け、新潟県が長年培ってきた最高級の良食味を呈するコシヒカリの一等米比率が大きく低下してきたことを踏まえ、約20年前から高温環境下でも収量や品質が低下しないイネの開発に取り組んできた。

暑さに強く高温・高CO2耐性を有する新品種『コシヒカリ新潟大学 NU1号』開発の進展に伴い、2020年度から実証実験がスタートすることに合わせ、「コシヒカリ新潟大学NU1号」応援基金を創設し、寄せられた寄附を協力農家への協力金、データ解析や研究に係る費用等に活用することで、研究開発を支援している。

※2020・2021年度累計寄附受入額：3,016千円



1. 新潟大学ブランドの周知・向上

広報戦略に基づき、パブリシティ活動や広報媒体を通じて、多様なステークホルダーとのエンゲージメントを通じた信頼関係を構築する。

2. 戦略的な財源の確保

寄附に関連するIR機能を強化し、戦略的なファンドレイジングに取り組むことで、基金収入を増加させる。

- ・ 同窓会と連携・協力した卒業生への情報発信と、新潟大学アプリやSNSを通じた情報の拡散とファンの獲得
- ・ データの効果的な活用により、少ないリソースで最大限の成果を実現

3. 寄附文化の醸成

国立大学法人等に対する個人からの寄附を促進するため、寄附しやすい環境の充実のため、個人寄附については税額控除となる事業を限定せず、「教育・研究活動全般」に対象を拡大することなど、更なる緩和の検討を期待したい。

本発表に関するお問合せ

〒950-2181

新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学総務部サポーター連携推進室

Tel : 025-262-6010 Fax : 025-262-7796

e-mail : kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp



サポーター
連携推進室
Twitter



新潟大学基金
WEBサイト